

岩田さん宅訪問記

淵 辰夫

岩田さんは、作品が天文雑誌に入選するなど、勢力的に星野写真の撮影に取り組んでいます。今回は、2月15日に、その岩田さん宅を訪ねました。

岩田さんは、大分市の中心市街地の片島に一戸建て住宅を構えている。ここは、生活に便利な一等地であるが、大分市でも一番空の明るい場所で、星野撮影には向かない。車に機材積込んで、野津原から、市外の今市～直入あたりまで約30km、撮影に出掛けている。

<<一等地に居住>>



写真1：
岩田さん宅にて

岩田さん宅は、昔、野々下さんが住んでいた場所の直ぐ近くで、国道10号線の府内大橋の交差点から行くと、下郡工業団地方向へ進み、広瀬橋付近をとおりすぎると、道路が少し盛り上がったところが見える。そこを、小川に沿って右折するとダイモン団地に入りそのまま真っ直ぐ奥へ突き当たりの左側付近。右折のところからは、150mく

らい入った位置にある。

<<最新のニュース>>

EOS 5Dマーク を23万円で購入し、買ってから3枚撮ったのみで直ぐに6万円の赤外フィルター改造に出した。従来のEOS 600万画素から大幅にアップするため、カメラ内のメモリの容量も現在256MBから、増やす必要がある。岩田さんの話では、最近のカメラは冷却しなくてもノイズ的には十分だそうで、ダークは引かなくても、フォトショップなどでノイズを少しとれば十分とか。あとは、周辺減光は問題になるので、ELパネルでフラット補正用画像を撮ればOK。もう少しすると、みんなフルサイズカメラの時代になるそうだ。

また、今まで使って来たイギリスのスターライトエクスプレス社製冷却CCD（正方形チップの400万画素、画素サイズ7μm）はビニングすると画像に縦縞ノイズが入り不具合が起きるため、解像力も高く4400ドル（約50万円）だったのだが、すバット売り払った。この程度の冷却CCDは二束三文の価値で不要だそうだ。

<<岩田さんの撮影機材>>

玄関を入ると、直ぐ横の壁に天体写真の最初の入選作品がある。居間に入ると居間にも天体写真がある。6畳くらいの立派な機材置き場が玄関の隣にあり、機材の持ち

出しも楽に出来る。もちろん、撮影に出掛けるときは、車は撮影機材でいっぱいになり、助手席が空くだけ。



機材置き場の隅に超重量級バッテリーがころがっている。昔は一個のバッテリーだったが、動作の安定性を考慮し、パソコン用、赤道儀用、カメラ用と個別に用意。しかし、なぜか昨年より、望遠鏡のコントロールで通信不良が度々発生するらしい。これって、ケーブルの断線もしくはコネクタの錆では？...

鏡筒のタカハシは、F値が明るいのと、ちょうどそのころ値上がり前だったので急いで購入。オートガイダーは、ソニーの素子でポルトガル製（画素700*500程度）700ドルくらいで購入。これに目をつけた丸野さんも同じものを買ったそうだ。ガイド用ソフト（マキシムDL）を合わせると10万円を超える。マキシムDLは日本だと7,8万円、海外より直接購入すると5万円くらい。世界標準らしいが、日本語で表示されないの、今は使いこなせてないそうである。

ファインダーは、ミヤウチの正立ファインダー、アイポイントが長く見やすい。望遠鏡に付属のタカハシのファインダーは売り飛ばしたそうだ。ファインダー足のアリガタアリミゾの治具を7000円で付けたので脱着の再現性がはかられて、その度に光軸合わせが不要。

EM200は比較的安価で軽いらしい。架台は20kg未満とのこと。15kgくらいの搭載量。岩田さんはバランスウェイトの取付棒を延長して、軽いウェイトでバランスがとれるようにしている。重りは、従来15kgから、8.5kgくらいに軽量化出来た。2.5年使っているが、今回、架台を三脚からピラーに買い換えた。三脚だと天頂付近に望遠鏡を向けるとカメラが三脚にぶつかり、どうにも使い勝手が悪い。

タカハシ純正品ピラーは、10万円以上するので、安価なケンコー製を5万円でゲット、EM200用に手を加えたもの。・・・ケンコー製らしくない良い感じに仕上がっている。

EOS 5Dマーク は、ライブビュー機能があるので、ピント合わせ用のダイヤルゲージを付けなくても良い。面倒くさいピント合わせもこれで解決。目的の天体の導入もパソコンなので大変便利な時代になったもんだ。セッティングも極軸セッティング後に赤経位置を一個の星で合わせるだけ。

岩田さんは、昔からミノルタの マウントの高級レンズを持っている。だいが前に使わなくなったので、レンズはカビカビになり、リサイクルショップのハードオフへ行ったら買取拒否されたそうだ。岩田さんは、これを生かす高性能超安価フィルムの出現を待っているところだ...しかし、もうフィルムの時代も終わり、ソニーのフルサイズ一眼も別に買えば良いかも。

何れも奥のレンズにまで盛大にカビが繁殖を続けている。



写真2： レンズ鑑定中の太田さん

太田さんの顔の横にある大型スピーカーボックスは岩田さんが自作したもの。